

## 2歳児

散歩に出かけることを喜び、その中で自然に目を向け、木の実や生き物などの自然物、天気や季節ごとの現象に興味を持っていった。どんぐりなどの木の実、ダンゴムシなどの生き物を見つけた喜び、雨粒を発見した時に不思議に感じたことなどを保育者や友だちに伝え、共有する中で友だちとの関わりが増えていった。自然物を採集したり、どんぐりごまにして遊んだり、木の枝をほうきに見立てたりなどして遊ぶ姿もあった。自然物に触れることで身近に感じ、子どもたちなりに遊びへと発展していった。



## 3歳児

水や泥の感触を楽しんだり泥団子を作ったりと繰り返し、自然物に触れて遊ぶ中で砂と水が混ざることによって泥になるなどの自然の不思議に興味を持っている。土山に水を掛けると滑りやすくなることに気がついてそれを滑り台にしたり、表面張力を利用して落ち葉を浮かせたりして発見を伝え、遊びへと展開している。発見、疑問を言葉で伝える中で遊びを広げ学ぶ中で、“こうしたらこうなるかな？”を考える力や工夫する力、友だちと協力する力などを身につけている。





そら（4歳児）



山を歩く・登る中で、歩く楽しさや達成感を味わってきた。自然にできた斜面・階段などを目の前にし、どのように体を使って登るのか、どの道が安全なのか思考、判断する力が身についていった。歩くことで、全身運動の機会を増やし、足腰を鍛えて「歩く力」をつけ、自信・意欲・向上心にも繋がった。



登りきった先には絶景！この綺麗な景色を見る為にどんな山道も最後まで歩ききっていた。「今日は何んな景色が見れるかな」と毎回楽しみにしていた。また、頂上で達成感や満足感、爽快感などを実感し、更なる歩く意欲にも繋がっていた。



山の中を歩く中で自然に実際に触れ、遊びを見出していた。同じ木でも太さや皮の色、叩いた時の音の違いなどを発見し、不思議さを感じていた。「どうして？」という疑問点から、図鑑等で調べる姿へも繋がっていた。





ひかり（5歳児） ～染物～



染物物の本を見て、たまねぎの皮で染められることを知り、普通のだまねぎと紫たまねぎとで色の違いを試してみることにした。煮ている時の匂いの変化や、水に色がついていく様子や皮の色がなくなっていく変化を発見していた。また染めた布を見て、紫たまねぎの方が濃い紫になると思っていたら、布が乾くと緑色に変化している様子にも驚いており、不思議に感じ、興味を深めていった。



染物の経験から、運動会で着るTシャツを染めてみたいという思いに繋がり、図鑑をみながら桜の葉を採集し、自分たちでやってみることにした。また、たまねぎの時と比べ、1日置く工程があったことから自然物の特徴やそれぞれ違ったやり方があることを学んでいた。1日目は黄色っぽい色をしていたが、2日目は赤くなっている様子に植物へ興味をさらに広げていった。



普通の布ではなく毎回色の変化が楽しめる自然物を使った染物が好きになり、染物での製作を意欲敵にするようになった。たまねぎの皮で染めた物はティッシュケースにしたり、紫キャベツで染めた布を使って縄編みを入れる巾着を作ったりもした。1年間を通してたくさんの自然物との触れ合いの中で色に興味を広げ、どんな色になるのか、水や葉の量、煮る時間など試しながら、毎回の変化を友だちと共有し、自然物との触れ合いから友だちとの関わりも深めていった。